



会報

日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2023年秋号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email : info@nippon-taiko.or.jp

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」

10月15日(日)第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」を金沢歌劇座(石川県金沢市)において1,200名のお客さまを前に盛大に開催いたしました。

1時間前から会場前に列ができるなど、多くのお客さまがお越しになり、太鼓の祭典に対する期待が伺えました。オープニングは、公益社団法人石川県太鼓連盟による合同演奏で盛大な幕開けとなりました。開会式では主催者を代表して金沢市 新保 博之副市長、日本太鼓財団 長谷川 義 会長、石川県支部 米田 直樹 支部長が挨拶し、日本財団 尾形 武寿 理事長よりご祝辞をいただきました。

地元石川県からの13団体を含む19道県及び台湾から38団体が出演し、各地の特色ある演奏が披露され、団体ごとにお客さまから大きな拍手が湧きました。フィナーレは出演団体の代表者が舞台に集まり、当財団 大澤 和彦 理事長の音頭でお客さま全員と恒例の三本締めを行い、幕を閉じました。

お客さまからは「素晴らしかった!ありがとう!」「エネルギッシュな演奏を見て元気が出た」との嬉しい感想が寄せられました。

ご来場いただきました皆さま並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。



(日本財団尾形理事長ご祝辞)



(九谷太鼓若獅子組・石川)



(山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部・山梨)



(荒尾太鼓・熊本)



(栃木県太鼓連盟・栃木)



(武蔵駒王太鼓・埼玉)

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」を終えて

日本太鼓財団石川県支部 支部長 米田 直樹

「第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭」を統一した「いしかわ百万石文化祭2023」が「文化絢爛」をキャッチフレーズに10月15日から11月26日までの44日間に渡って、石川の地で盛大に開催されました。

本県にとって国民文化祭の開催は、1992年以来31年ぶり2度目であり、「全国障害者芸術・文化祭」は初開催となります。地域の伝統や文化の良さを再認識するよき機会となりました。

「太鼓の祭典」では北海道から九州、そして台湾を含めた公募32チーム、ゲスト団体6チーム、計38団体に出演して頂き心から感謝申し上げます。このような機会をくださいました日本太鼓財団、出演くださいました皆様方と出会えたことが私たちにとりまして宝物だと思っております。

結びに「太鼓の祭典」の開催にあたり格別のご支援、ご協力を頂きました関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。また、石川の地で会える日をお待ちしています。本当にありがとうございました。



(公益社団法人石川県太鼓連盟・石川)



(群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部 飛翔・群馬)



(地獄太鼓・北海道)



(打族 (Da-zoku) ・石川)



(出城虫送り太鼓保存会・石川)

<出演団体一覧> 出演順38団体 ☆は初出演

1. 公益社団法人 石川県太鼓連盟 (石川)
- ☆ 2. もろえ夢太鼓 鼓太郎・鼓太姫 (石川)
3. 華音 (神奈川)
- ☆ 4. 太鼓童子こかぶ広島 (広島)
5. 天徳幼稚園 保護者サークル 天悠楽 (石川)
6. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨)
7. 御璃刃 (三重)
- ☆ 8. 山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部 (山梨)
- ☆ 9. 栃木県太鼓連盟 (栃木)
- ☆ 10. 九谷太鼓若獅子組 (石川)
- ☆ 11. 田上本町たいこ倶楽部 (石川)
- ☆ 12. 荒尾太鼓 (熊本)
- ☆ 13. 法領田獅子踊り保存会 (岩手)
- ☆ 14. 十五鼓乃会 (広島)
- ☆ 15. 朝霞太鼓 (石川)
16. 大治太鼓保存会 (愛知)
17. 輪島高洲太鼓 (石川)
- ☆ 18. あき銭太鼓 水和会 (広島)
19. 和太鼓サスケ (石川)
- ☆ 20. 武蔵駒王太鼓 (埼玉)
- ☆ 21. 群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部 飛翔 (群馬)
22. 和太鼓 つばき (石川)
- ☆ 23. 地獄太鼓 (北海道)
- ☆ 24. 美濃国 高賀山太鼓 (岐阜)
- ☆ 25. 打族 (Da-zoku) (石川)
26. 打吹童子ばやし・和太鼓 LEGEN 童 (鳥取)
- ☆ 27. 出城虫送り太鼓保存会 (石川)
28. 開成水神雷太鼓保存会 (神奈川)
- ☆ 29. 赤熊太鼓保存会 (佐賀)
30. 手取亢龍太鼓保存会 (石川)
- ☆ 31. 葫蘆墩 (ふるとん) Smile 太鼓團 (台湾)
- ☆ 32. 松本 敏春 (加賀の太鼓「無限」) (石川)
33. 橘太鼓「響座」ジュニア (宮崎)
34. 銚子はね太鼓保存会 (千葉)
35. 加茂綱村太鼓 (宮城)
36. 岐阜県太鼓連盟 獅子の会 (岐阜)
37. 高野右吉と秩父社中 (埼玉)
38. 豊の国ゆふいん源流太鼓 (大分)



(赤熊太鼓保存会・佐賀)



(葫蘆墩 Smile 太鼓團・台湾)

第8回大学太鼓フェスティバル

8月25日(金)第8回大学太鼓フェスティバルを文京シビックホール大ホール(東京都文京区)にて、約350名の観客を集め開催いたしました。

この大学太鼓フェスティバルは、大学進学後の太鼓活動の場が限られていることから、高校卒業以降の太鼓活動を支援するため開催しております。日本太鼓財団主催、関東地区の大学生が中心となって設立した大学太鼓連盟が共催となり、日本財団の助成事業として実施いたしました。

主催者を代表して当財団 大澤 和彦 理事長、共催の大学太鼓連盟 右田 実範 代表の挨拶の後、演奏が始まりました。関東圏及び愛知県、兵庫県の6都県から12団体が演奏を披露しました。

フィナーレには、各大学より総勢32名による合同演奏「晴彩彩」が演奏され、その迫力にお客さまから大きな拍手が贈られました。

どの大学チームも個性が感じられ、お客さまからは「大学生の澁刺とした若さあふれる演奏に元気をもらった」との嬉しい声をいただきました。

*大学太鼓連盟 右田 実範 代表よりご寄稿いただきました。

<出演団体一覧> 出演順12団体

1. 洗足学園音楽大学 和太鼓部「鼓弾」(神奈川)
2. 神田外語大学 和太鼓サークル神楽(千葉)
3. 田中孝記念立教大学コミュニティ福祉学部 和太鼓プロジェクト絆の会(埼玉)
4. 横浜国立大学「みんけん」(民謡研究会合唱団)(神奈川)
5. 中央大学 和太鼓サークル鼓央(東京)
6. 立教大学 合唱団アヒル会(東京)
7. 大同大学 和太鼓同好会「咲楽」(愛知)
8. 武蔵野大学 和太鼓隼(東京)
9. 流通科学大学和太鼓部(兵庫)
10. 日本体育大学 伝統芸能・和太鼓同好会「和桜」(東京)
11. 和太鼓サークル樂華(東京)
12. 東京理科大学 和太鼓樹(千葉)

大学太鼓フェスティバルを終えて

大学太鼓連盟 代表 右田 実範

この度は第8回大学太鼓フェスティバルが無事開催できましたことを、厚く御礼申し上げます。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

今回のフェスティバルでは12団体の大学生団体に出演していただくことができ、350名のお客様に足を運んでいただきました。大学太鼓界の夏の一大イベントとして根付いてきたのではないかと大変うれしく思います。

今大会では「ご縁」を大切に開催させていただきました。コロナ禍という未曾有の影響もあり、大学太鼓フェスティバルも延期や中止などに見舞われまれましたが、こうして開催することができていますのは、日頃から大学太鼓を応援して下さる方々のお陰であると実感しています。

また大学生同士の横の繋がりが少ない現状で「大学太鼓フェスティバル」でご縁を感じ、今後の活動や稽古の励みにしていただければと思います。

「WADAIKO」が世界的に認知され日本太鼓が注目を集めている中で、私たち大学生が太鼓の魅力を発信していくことはとても有意義なことだと思います。「大学太鼓フェスティバル」がさらに魅力あるイベントに発展していきますように、大学太鼓を多くの方に知っていただけますように、私たち大学太鼓連盟も精進して参ります。



(出演者集合写真)

第25回日本太鼓全国障害者大会

10月1日(日)東京都文京区「文京シビックホール大ホール」にて第25回日本太鼓全国障害者大会を開催いたしました。

この大会は日本太鼓財団主催、社会福祉法人富岳会共催、関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部主管のもと、日本財団の助成事業として実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会は、45年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。この大会は、1998年静岡県御殿場市にて、富岳会主催「第1回全国障害者太鼓演奏会」から始まり、「より多くの団体に出演の機会を」との声を受け、翌1999年から当財団との共催で実施しております。

日本太鼓に積極的に取り組んでいる知的・聴覚・視覚・身体等様々な障害を持つ21団体(14都府県)が一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

各団体の演奏の合間には、出場者が太鼓との関わりについて体験発表を行い、約400名におよぶ観客から、ひたむきな演奏と体験発表に惜しめない拍手が贈られました。

<出場団体一覧> 出場順21団体 ☆は初出場

1. 富岳太鼓 竜神組(静岡)
2. 岩淵組(東京)
3. やまびこ太鼓(福島)
4. なごみ太鼓喜楽(静岡)
5. 社会福祉法人 同朋福祉会 同朋太鼓(山口)
6. 和太鼓パフォーマンス集団『夢ん鼓』(東京)
7. 石川県立 明和特別支援学校 龍剣太鼓OB会(石川)
8. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」(大阪)
9. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム(静岡)
10. DRUM 輪(和歌山)
11. 伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓(静岡)
12. 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会(新潟)
13. 縄楽座(千葉)
14. 大分県社会福祉事業団大分県糸口学園(大分)
15. ファミリーユニット童鼓(岐阜)
- ☆16. 上州ろう太鼓・心響(群馬)
17. 徳島県立国府支援学校 和太鼓部(徳島)
18. 甲斐乃和太鼓 心響会(山梨)
19. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)
20. 恵那のまつり太鼓(岐阜)
21. 大江戸助六流
東京ろう者 和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)

*初出場団体に当日発表いただいた体験発表文をご紹介します。

上州ろう太鼓・心響(群馬)

和太鼓を始めたきっかけは1996年11月に行われた地元の太田市聴覚障害者福祉協会創立30周年記念大会。アトラクションの1つとして和太鼓をやる事になり、太田市聴覚障害者福祉協会と太田手話サークルから有志者を募り、4ヶ月前より練習を開始しました。

経験者が1人も居なく、誰もが初めての挑戦でした。聴こえない者がいかにリズムをつかみ、パチさばきをあわせるのか、試行錯誤を繰り返し何度も壁にぶつかる厳しい練習を経て、大会では2曲を精一杯披露しました。お客様がどう感じたか不安でしたが、とても素敵な反響があり涙を流したことを今でも鮮明に覚えています。

大会終了後、地域の和太鼓会に入り太鼓を続けていくうちに、2001年3月4日、群馬県聴覚障害者団体連合会創立50周年記念大会兼第21回聴覚障害者福祉大会アトラクションとして、和太鼓をやってほしいとの依頼があり、あの時の感動を再び起こしたく太田市だけでなく、県内の他の各聴覚障害者福祉協会や手話サークルにも呼び掛け、集まった有志者で和太鼓を演奏し、大成功を収めました。

そして2001年4月1日、県内初のろうあ和太鼓会として「上州龍の子和太鼓会」の名称で、聴覚障害者を中心に太田市を拠点として活動しました。無名であり、技術も未熟な状態でしたので一生懸命練習し、福祉関係のイベントに出演、大きな反響を頂き学校や会社、お祭りイベントからも依頼がたくさん入るようになりました。

2008年4月に「上州ろう太鼓・心響」に改名し、1年間に35件以上の演奏など活動をしてきました。特に2014年は「海外公演!」という夢を9月にロシアで達成しました。日本の文化、和太鼓にふれたことの無い人たちが相手にどう挑むか不安が大きくありました。しかし演奏が始まるとロシア人の人たちは釘付け状態。そしてリズムを刻むかのように身体をゆらしている人たちがたくさん見られ、終わってみればスタンディングオベーション。良い印象を受け止めてくれた事が何よりも嬉しかったです。また同年10月は、障害をもつミュージシャンの発掘に力を入れ、自立出来る環境の更なる向上を目標として挑むコンテスト「第11回ゴールドコンサート」に自ら応募し、94組の中から13組に選抜され、東京国際フォーラムにて初出場等、大きな成果を果たす事が出来ました。

心響はこれからも聴覚障害者の理解を広め、聴覚障害者の可能性をアピールする為に、福祉団体などの各種行事、地域や企業のイベント、福祉施設慰問、学校関係での人権学習講演などなど、可能な限りいろいろな所で演奏や講演を続けていきたいと思っております。



第17回ブラジル太鼓ジュニアコンクール&フェスティバル 7月30日(日) ブラジル サンパウロ州

ブラジル太鼓協会の主催により、約1,100名の観客を集めて開催されました。35団体が参加し、ジュニア(18歳以下)、マスター(40歳以上)、ミリン(12歳未満)、自由部門、大太鼓部門に分かれて競い合いました。

6名の審査委員のうち、日本太鼓財団の公認指導員である村上ジュリアナ冴美氏(3級公認指導員)、堀江ラファエル一郎氏(3級公認指導員)が審査委員を務めました。



(開会式の様子)

ジュニア部門では「オザスコ轟太鼓」(オザスコ市)が2011年以来2度目の優勝を果たし、来年3月に埼玉県さいたま市で開催するジュニアコンクールに出場することが決定しました。

ジュニア部門上位の結果は次の通りです。

- 優勝 オザスコ轟太鼓(オザスコ市)
- 準優勝 クリチーバ若葉太鼓(クリチーバ市)
- 第3位 前進太鼓(カスカベル市)



(ジュニア部門優勝:オザスコ轟太鼓)

第14回台湾太鼓ジュニアコンクール&第16回台湾太鼓フェスティバル 10月22日(日) 台湾 苗栗縣

台湾太鼓協会の主催により開催されました。コンクールには10団体が出場し、昨年の全九州日本太鼓ジュニアコンクールで優勝した舞鶴一座秋月鼓童(宮崎)と前回台湾大会優勝の葫蘆墩 Smile 太鼓團(台中市)が特別演奏を披露しました。またフェスティバルには8団体が出演しました。

コンクールが終わると観客を完全入替えてフェスティバルが開催され、両公演をあわせて約1,000名の観客を集めました。



(開会式の様子)

審査の結果、「柏齡太鼓團」が2度目の優勝を果たし、来年3月に埼玉県さいたま市で開催するジュニアコンクールに出場することが決定しました。

上位の結果は次の通りです。

- 優勝 柏齡太鼓團(台北市)
- 準優勝 山佳彪太鼓團(苗栗市)
- 第3位 東山太鼓團(台北市)
- 日本太鼓財団賞 陽太鼓(台中市)



(優勝:柏齡太鼓團)

第70回日本太鼓全国講習会（福島） 8月26・27日（土日）須賀川市「須賀川市文化センター」

全国講習会を福島県支部、東北太鼓連合主管にて実施いたしました。地元福島県をはじめ、15都府県から90名が受講しました。開会式では、大澤 和彦 理事長、福島県支部 芳見 弘一 支部長、東北太鼓連合 江口 信一郎 会長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。夏の暑さに負けず、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

- 総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）
- 基本講座
 - 3級基本講座 野方 嘉孝
 - 4級基本講座 齋藤 通夫
 - 5級基本講座 渡邊徳太郎
- 講話 浅野 昭利（（一財）浅野太鼓文化研究所理事長）

- 専門講座

単式単打法講座（担ぎ桶太鼓）	岩切 邦光
単式複打法講座	松枝 明美
複式複打法講座	高野 右吉

- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	5名受検	5名合格（3名認定）
2級検定	8名受検	8名合格（2名認定）
3級検定	9名受検	9名合格・認定
4級検定	7名受検	7名合格・認定
5級検定	26名受検	26名合格・認定



（単式単打法講座）

第94回日本太鼓支部講習会（北海道道西）

10月7・8日（土日）岩見沢市「幌向総合コミュニティセンターほっとかん」

支部講習会が北海道道西支部主催にて開催され、地元北海道を中心に14名が参加しました。開会式では日本太鼓財団北海道連合会 太田 義高 会長、道西支部 秦野 智徳 支部長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり、講習会が始まりました。爽やかな秋晴れの中、受講生は2日間一生懸命受講していました。

- 総合指導 古屋 邦夫
- 基本講座
 - 5級基本講座 太田 義高

- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定	7名受検	7名合格・認定
------	------	---------



（5級基本講座）

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月4日（金）当財団ビルの町内会である「虎ノ門一丁目琴平町会」の夏祭りが開催され、邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア（東京）と、日本財団関連団体関係者で構成された和太鼓水心会（東京）が演奏を披露しました。

オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、通りがかった人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



（邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニアと和太鼓水心会）

各種会議

<第75回運営委員会・第80回技術委員会>

7月14日（金）東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2022年度事業報告並びに決算報告について
2. 2023年度事業計画並びに収支予算について
3. 第8期公認指導員更新研修会の実施結果について
4. 一般会員（個人）の入会について
5. その他

<第26回代議員会>

7月14日（金）東京にて開催し、次の事項について説明を行いました。

1. 2022年度事業報告並びに決算報告について
2. 2023年度事業計画並びに収支予算について
3. 反社会的勢力排除に関する誓約について
4. 大阪・関西万博について

第8期公認指導員更新研修会欠席者（未更新者）の対応について

2022年度は公認指導員の更新研修会が4回に亘り行われました。更新対象者252名の内、177名が更新を終了、75名の欠席者の対応について、欠席の諸事情を勘案の上、大澤和彦運営委員長と古屋邦夫技術委員長とで協議し、以下の通り対応することが委員会にて承認されました。

○出席を免除し更新手続きを行う者

- 1 級公認指導員 12名 1-12 今泉豊（東京）、1-16 小林正道（東京）、1-21 鈴木孝喜（秋田）、1-23 安江信寿（石川）、1-24 松元和敏（鹿児島）、1-25 田中誠一（米国）、1-29 田中俊己（長崎）、1-34 安井富（愛知）、1-42 河合陸夫（富山）、1-43 蓑輪敏泰（宮崎）、1-49 今池薫（北海道）、1-53 西川恵美子（愛知）
- 2 級公認指導員 10名 2-12 寺田益男（静岡）、2-20 高橋長悦（秋田）、2-30 清原昭子（埼玉）、2-40 得能力知（石川）、2-43 西川清昭（富山）、2-47 源通博（富山）、2-51 野本敏章（福岡）、2-60 河野勝己（大分）、2-79 堀江富男（静岡）、2-97 濱口幸（三重）
- 3 級公認指導員 31名 3-10 遠藤一子（岩手）、3-18 岩川清（島根）、3-64 小山喜代子（埼玉）、3-81 中村徹（長野）、3-86 田中平一郎（佐賀）、3-90 河野豊（大分）、3-109 鈴木礼子（秋田）、3-111 菅原恵美子（秋田）、3-112 小棚木恵美子（秋田）、3-127 齊藤さとみ（秋田）、3-133 藤井ゆみ子（秋田）、3-138 上敬夫（栃木）、3-147 上原徳夫（群馬）、3-160 根本さち子（愛知）、3-169 中島幸子（石川）、3-170 東出南弥子（石川）、3-180 熊野誠（富山）、3-216 佐藤司（三重）、3-239 柏木博光（熊本）、3-257 中村タチアナ茉莉（ブラジル）、3-258 藤本フェリベけい（ブラジル）、3-259 光岡マウリシオ（ブラジル）、3-260 村上ジュリアナ冴美（ブラジル）、3-261 山田享エリキ（ブラジル）、3-278 渡辺孝昭（熊本）、3-283 陳麗玉（台湾）、3-299 河原寛（岡山）、3-301 小西英樹パウロ（ブラジル）、3-302 田中マルコス輝男（ブラジル）、3-303 八幡枝里（ブラジル）、3-304 堀江ラファエル一郎（ブラジル）

○資格停止とする者

- 2 級公認指導員 1名 2-21 後藤浩一（長野）
- 3 級公認指導員 12名 3-23 国分忠一（福島）、3-80 鳴澤英一（長野）、3-195 川越俊行（宮崎）、3-197 五十嵐善一（静岡）、3-229 柴口カロリーナ（アルゼンチン）、3-263 石田卓也（宮崎）、3-272 福崎美由紀（茨城）、3-295 山部哲誠（岡山）、3-296 清水克彦（岡山）、3-297 川合拓哉（岡山）、3-298 笠原清志（岡山）、3-300 中田誠一（岡山）

○資格喪失とする者

- 1 級公認指導員 1名 1-38 萩川千寿（福島）
- 2 級公認指導員 3名 2-62 河野正治（大分）、2-55 山下実（長崎）、2-113 山本雄二ブルーノ（ブラジル）
- 3 級公認指導員 5名 3-89 脇島猛憲（長崎）、3-179 蓑輪真弥（福岡）、3-181 田中宏明（北海道）、3-225 岡里茂（長野）、3-269 香田将宏（佐賀）

事務局だより

石井幹子理事が旭日中綬章を受章！

当財団の石井幹子理事が、秋の叙勲で旭日中綬章を受章されました。
石井理事は、日本を代表する照明デザイナーとして長年に渡り活動をされ、その功績が認められたものです。心よりお祝い申し上げます。今後ますますのご活躍を期待しております。

第71回日本太鼓全国講習会（熊本）

期 日：2024年2月24・25日（土日）
会 場：小川総合文化センター・ラポート
〒869-0624 熊本県宇城市小川町江頭80番地 Tel. 0964-43-0004
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

基本講座

3級基本講座 野方 嘉孝

4級基本講座 高島 奈々

5級基本講座 松枝 明美

専門講座

単式単打法講座（大太鼓） 岩切 響一

複式単打法講座 今泉 豊

複式複打法講座 長谷川 義

講話 長谷川 義（当財団会長）

お問合せ：日本太鼓財団熊本県支部 事務局長 坂口 繁幸
Tel. 096-232-0836

* 詳細は次号の会報に掲載いたします。

2024年度太鼓エイド交付事業申請受付について

2024年度太鼓エイド事業申請受付は、次の通りです。詳細は当財団公式サイトをご覧ください。

対象期間：2024年4月より2025年3月までの間に実施する事業

申請締切：**12月15日（金）** 助成金額：1事業あたり上限30万円（予定）

*** 16日以降に到着した申請については審議対象になりませんのでご注意ください。**

* 詳細は、財団事務局・担当笠原、山本（Tel. 03-6205-4377）までお問合せください。



訃 報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました賛助会員の諏訪響太鼓店（長野）代表の小口さえ子氏が9月30日にご逝去されました（享年93歳）。小口さえ子氏は、御諏訪太鼓保存会の宗家であり当財団初代副会長を務められた故小口大八氏のご令室として太鼓界を支えてこられました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました秦野観光和太鼓（神奈川）の相原啓子氏が11月13日にご逝去されました（享年65歳）。相原氏は神奈川県支部の事務局長として財団の活動にご協力いただきました。また、今年度のシニアコンクールにもご出場の予定でした。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

